

---

# 2012 年度 事業報告書

---

特定非営利活動法人  
アントレプレナーシッ  
プ開発センター

---

〒604-0866  
京都市中京区西方寺町 160-2  
船越メディカルビル 3F  
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

---

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

# アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

## 目次

はじめに .....	2
事業概要 .....	3
活動紹介 .....	5
会計収支報告書.....	22
会計貸借対照書.....	23

## はじめに

皆さまのご支援のお陰をもちまして、2012 年度を無事終えることができ、ここに事業報告をさせていただきます。

2012 年度が一番大きな自主事業の活動としては、今年で参加 10 年目を迎えます高校生の国際競技「Global Enterprise Challenge」の世界大会のホストを担ったことでした。会場提供なので共催いただいた龍谷大学はじめ、多くの企業や団体のご支援のもと、参加国16カ国のうち 5 カ国(日本、インドネシア、カンボジア、シンガポール、ウエールズ)が京都に集合することができました。若い生徒達にとっては、同世代の若者と切磋琢磨して戦うだけでなく、各国の文化を紹介する懇親会や観光に同行して交流したことが、国際理解やその後の学習意欲の向上につながっています。アンケートからも、世界の舞台で活躍するには、英語はもちろんのこと、アイデアを出すだけでなくそれを形にして表現していくチームワーク力が必要だと実感していることが伺えました。今年も 3 月末に 2013 年の国内予選を終え、入賞者が 6 月の世界大会にむけて準備をしているところです。

また、例年 11 月に開催しております小学生から大学生が参加する仮想企業の実践見本市である「バーチャル・カンパニー トレードフェア」も 12 回目を迎え、多くの方の支援を受けて盛況に終了することができました。当日は、アイセック・ジャパン京都大学委員会のご協力のもと、日本で働いている留学生の方々から各国のビジネス事情について紹介いただいたり、参加者全員で新商品の開発に挑戦したり、交流を深めることができました。このような教育に関心を持ち、将来、教育者として指導したり、自ら起業したいという大学生達の参加も徐々に増えてきており、アントレプレナーシップ教育について知っていただく良い機会となりました。

他の団体との連携事業では、京都府の補助事業「きょうと介護・福祉ジョブネット」の「次世代の担い手育成事業」が今年で 5 年目となりました。2012 年度は 45 の福祉施設と 7 校 304 人の小・中学生が 30 時間程度の活動に参加し、「高齢者や障害者への理解や思いやり」「福祉の仕事への理解」が大きく向上し、実践の教育効果が出てきています。今年も、参加者も倍増し、さらに多くの地域で学校を核とした取り組みが広がってきています。また、京都府の委託事業「京都式ソーシャル・ビジネスひとづくり事業」を 10 月から半年間実施し、5 名の研修生を雇用して社会的な事業分野での起業準備の支援を行いました。その他にも、神戸商工会議所の創業塾は 14 期目を迎えました新しく、兵庫六甲農業共同組合から農業経営者塾の研修を受けています。

今年も当センターが事業を初めてから 15 年。NPO として独立して 10 年を終えます。次の 10 年を見据え、皆様と一緒に新たな挑戦を模索していきたいと存じますので、引き続きご支援・ご指導賜れますようお願いいたします。

平成 25 年 5 月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター  
理事長 原田紀久子

事業概要

事業名 (定款記載の事業名)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数
事業理解を進めるための調査・研究・情報発信	実施事業の情報提供	(A)随時 (B)当センターHP など (C) 3名	(D)興味のある方 (E) 不特定多数
	メールマガジンによるセンター活動の報告・案内	(A)毎月 25日 (B)インターネット (C) 2名	(D)メールマガジンに登録した人 (E) 約 5,000名
	調査活動	(A)9月、2月 (B)長野・カンボジア (C) 1名	(D)次年度事業に関わる人 (E) 不特定多数
実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援	【きょうと介護・福祉ジョブネット：福祉分野の仕事理解促進&次世代の担い手育成事業】 小・中学生の福祉職への理解促進のための実践的教材開発&研修事業	(A)4月～3月末 (B)当センターまたは参加学校や主催者側会議室など (C) 10名	(D)事業に関心のある方 (E) 約 300名
	教員研修や授業支援や指導のコンサルティング	(A)随時 (B)依頼場所にて (C) 3名	(D)アントレプレナーシップを推進したい団体 (E) 約 2,000名
能力開発のための研修・講義・講座の提供	大学などにて講演など	(A)随時 (B)大学の講義室等 (C) 1名	(D)講座に出席している人 (E) 約 1000名
企業訪問・講師派遣・インターンシップなどのコーディネートや就業支援	【大学生のインターンシップ受入】 大学コンソーシアム京都などから、希望の大学生を研修生として受入	(A)8月～3月末 (B)当センター (C) 2名	(D)当 NPO 法人の事業に関心のある方 (E) 3名
普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営	【Global Enterprise Challenge 2013】 青少年のイノベーションへの興味を喚起するために課題解決に挑戦する高校生対象の国際イベントに参加する代表チームを選別する国内予選	(A)国内予選：2013/3/23 (B) インターネット開催 (C) 11名	(D)活動に興味をもった高校生 (E) 参加者約 140名
	【Global Enterprise Challenge 2012】 青少年の科学技術の関心を高めるために課題解決に挑戦する高校生対象の国際イベント実施	(A) 世界大会：2012/6/15-18 (B) 龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」 (C) 約 80名	(D)活動に興味をもった高校生 (E) 参加者約 170名
	【バーチャル・カンパニートレードフェア 2012】 地域と連携した事業活動を行う小学生～大学生の実践発表と販売見本市	(A) 11/24 (B)京都大学百周年時計台記念館 (C) 約 50名	(D)地域連携の課題解決プロジェクトを行なっている小学生から大学生のチームや教員・保護者、支援団体の人たち (E) 参加者 約 600名

起業や事業運営に関わる研修やコンサルティング	【KCCI 神戸商工会議所創業塾】 「会社をつくろう！」を担当	(A) 2012/6-7月の計5回 (B) 神戸市産業振興センター (C) 3名	(D) 創業に関心のある方 (E) 約50名
	【兵庫六甲農業協同組合委託事業】 「農業経営者塾」の講師受託業務	(A) 2013/2/12 (B) 兵庫六甲農業協同組合 (C) 1名	(D) 経営改善したい方 (E) 4名
	【京都市ソーシャル・ビジネス人づくり事業:地域の担い手応援事業】 ソーシャル・ビジネスのリーダーや担い手を育成するための研修・相談・支援業務	(A) 2012/10/1～2013/3/31 (B) アントレオフィスと実習受入先企業 (C) 2名	(D) ソーシャルビジネスリーダーとして起業したい方 (E) 5名
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス(就労支援事業)の提供やその支援	【障がい者の働きがいと能力を活かす地域の実現」に向けた地域力再生プラットフォーム】事務局運営	(A) 2012/8//10～2013/3/14 (B) 京都府庁NPOパートナーシップセンターと社会福祉法人共生シンフォニー (C) 2名	(D) 障害者の就労支援に携わる自治会やNPO等 (E) 約20名
	【平成24年度京都府:ほっとはあと製品応援事業—賃金向上達成のためのモデル事業】	(A) 2012/6～2013/9 (B) 作業所4団体 (C) 1名	(D) 障害者の賃金向上を目標とする作業所 (E) 約20名
その他 この法人の目的を達成するために必要な事業	公的機関の委員など ・京都府雇用創出・就業支援計画推進会議委員 ・京都府府民力推進会議委員 ・京都府工賃向上計画検討会議委員	(A) 2012/4～2013/3まで (B) 京都府など (C) 1名	(D) 事業に関係する方々 (E) 不特定多数

# 活動紹介

## 1. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信事業

### ●HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

随時 HP やブログや Facebook に活動情報や報告を掲載。また、毎月 25 日に約 5,500 人にメールマガジンを配信。

HP アドレス：<http://www.entreplanet.org/>

ブログアドレス：<http://blog.canpan.info/entreplanet/>

Facebook アドレス：<https://www.facebook.com/entreplanet>

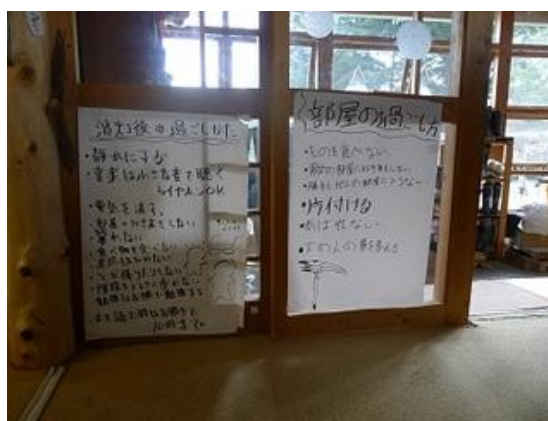
メルマガ登録サイト：<http://www.entreplanet.org/form/sformmail.php>

### ●調査研究活動

「奇跡の村の物語：1000 人の子供たちが限界集落を救う！」を出版した NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センターが運営している「だいだらぼっち」暮らしの学校を 9 月に視察。



「だいだらぼっち」の宿舎



宿舎内：子供のルール

2013 年 8 月に調査委託を受けているアントレプレナーシップ研究にて、ワークショップ開催場所のカンボジアを 2 月に訪問。連携機関のカンボジア日本センターと打ち合わせしたり、現地の起業家を調査した。



カンボジア・日本センターにて  
NGO でインターンする日本人学生と



プノンペンの社会起業家の店舗



## 2. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援事業

### ●平成 24 年度「きょうと介護・福祉ジョブネット」仕事理解促進事業 「次世代の担い手育成事業」

次世代の介護・福祉人材の育成を目標に、福祉の仕事への興味・関心を促進するため、小・中学校の「総合的な学習の時間」などを活用し、学校教育の中で福祉の仕事についての理解を深めるための施設見学、就業体験プログラムです。4年目となる本年度は、小学校6校と中学校1校の合計7校、304名の児童・生徒と45の施設が参加しました。

No.	学校名	学年	クラス数	人数	協力施設	実施時期	時間数	導入回数
1	京都市立岩倉南小学校	4年	3	120	12	9～2月	31	初
2	京都市立養正小学校	4年	1	30	5	9～11月	32	4回目
3	南丹市立殿田小学校	4年	1	20	5	5～1月	49	初
4	京丹後市立大宮第三小学校	4年	1	7	2	9～2月	32	初
5	京都市立正親小学校	6年	1	23	4	10～12月	20	初
6	京都市立竹の里小学校	6年	1	31	4	10～12月	28	2回目
7	与謝野町立加悦中学校	1年	2	73	13	10～12月	30	3回目
合計	7校		10	304	45			

活動としては2学期の導入が多く、平均すると概ね30時間程度の授業活動となっています。事業実施に際しては、事前に事務局が参加校と打ち合わせを行い、希望の活動内容や実施日時を確認したうえでカリキュラムを開発。その後、外部講師の講演や施設訪問を調整し、最終的な授業計画をたて、それと並行して、地域の社会福祉協議会などが受入施設を紹介、講師の派遣や体験の受入を調整しました。

授業前には、関係者が一斉に介した研修会を実施して、事業の趣旨理解や予測される課題への対応策などを話し合い、情報の共有化を行いました。



### ●教員研修や授業支援・指導のコンサルティング

松本市では青少年課勤労青少年ホームが主体となってキャリア教育を推進し、当センターの Web 教材「キッズアントレ」を活用。夏休みに指導者研修を実施し、本年度は小学校4校、中学校2校のモデル校で13クラス、約500人が参加しました。

開催日時:平成24年8月1日

参加校:松本市立岡田小学校、旭町小学校、寿小学校、清水小学校、女鳥羽中学校、波田中学校

### 3. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

#### ●講演など

- ・ 創価大学教育学部・教職員大学院の学生・指導者へ「アントレプレナーシップ教育実践」の紹介 (2013/3/5)
- ・ NPO 法人アイセック京都大学委員会イノベーション&アントレプレナーシップ推進プロジェクトによる「Campus×Canvas～大学生生活と人生の描き方～」にてパネルディスカッションコーディネイト (2013/1/16)
- ・ 仏教大学教員養成講座「アントレプレナーシップ教育～自ら仕事を創造できる人の育成を目指して～」 (2012/11/16)
- ・ 関西ネタ研究会「福祉の仕事を通じたキャリア教育実践～次世代の担い手育成事業」 (2012/8/26)
- ・ 第38回関西ネットワークシステム (KNS) 定例会「グローバル×アントレプレナーシップ人材の育成を目指して～小学生～大学性の教育実践の成果と課題」 (2012/7/28)
- ・ 追手門学院大学経済学科「アントレプレナーシップ教育入門」講義 (2012/7/12)
- ・ 京都大学公共政策大学院にて講義(2012/7/13)
- ・ 京都市立養正小学校「アントレプレナーシップ教育指導者研修会」講義(2012/6/21)
- ・ 京都府工賃向上計画作成説明・研修会にて講義「事業計画を達成するためのエッセンス」 (2012/4/26&27)



センターを訪問した創価大学の学生達



イノベーション&アントレプレナーシップ推進プロジェクト

### 4. 企業訪問・講師派遣・インターンシップなどのコーディネイトや就職支援

#### ●インターンシップの受入

大学コンソーシアムのプログラムから選ばれた立命館大学の2年生と会員からの受入依頼のあったノートルダム女子大学の学生2名を8月末～9月にかけてインターン生として受入。立命館大学生の1名はその後も継続して研修生兼アルバイトとして勤務。2013年の2月から受け入れた京都女子大学生の研修生と2名にてGECなどのイベントを担当。



### ●Global Enterprise Challenge 2012 (グローバル・エンタプライズ・チャレンジ)

グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (GEC) は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、16歳から19歳までの青少年を対象に、2001年に始まった国際イベントです。NASA(米航空宇宙局)やWIPO(世界知的所有権機関)も支援しており、2012年は16カ国が参加しました。

日本で実施する国内予選と、各国の代表チームが競い合う世界大会とで構成されており、2012年の世界大会では、日本がアジア諸国のハブ地として「龍谷大学セミナーハウスともいき荘」にて開催いたしました。参加者は、総合的な知識を活用して解決策を事業プランとしてまとめて発表。提案内容は、審査員により、創造性・革新性・実現性・市場性・コミュニケーション能力などの点を総合的に評価され、優秀チームが決定されます。2012年の国内予選には、15チームが参加し、洛南高等学校が日本代表として世界大会にしました。世界大会では昨年度に続いてオーストラリアが優勝し、日本での参加となったウエールズが3位に入賞いたしました。

なお、2013年の世界大会に向けて開催された国内予選では、21チーム参加し、洛南高等学校チームと京都教育大学附属高等学校チームが入賞し、日本チームの代表として6月に開催される世界大会に向けて準備しています。

共 催：龍谷大学

助 成：公益財団法人京都オムロン地域協力基金、公益財団法人 KDDI 財団、財団法人 JKA、  
京都府（コンベンション等誘致促進緊急対策事業助成）

協 賛：株式会社島津製作所、住友スリーエム株式会社、株式会社大貴、日東薬品工業株式会社

後 援：経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府  
私立中学高等学校連合会、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会（公益社団法人  
京都工業会、一般社団法人京都経済同友会、一般社団法人京都発明協会）、独立行政法人科学  
技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

#### <活動内容>

**【国内予選】 3/23(金) 10:00AM-3/24(土)12:00AM**（会場：龍谷大学 セミナーハウス「ともいき荘」）

#### <課題(challenge)>

Your challenge for the GEC 2012 Japan National Competition is “To produce a working model of an innovative\* product or service that will improve people's lives for the other 90%. (\*Please note that "innovative" does necessarily not mean high technology)

#### ■入賞チーム

##### ◎最優秀賞

・『Ecology Play Generator (EPG) 』(洛南高等学校 チーム)

##### 2位:

・『Banahappy』(京都市立西京高等学校 A チーム)

##### 3位:

・『Bicycle Cycle』(国立明石工業高等専門学校 チーム)

**【世界大会】 6/15(金) 18:30PM-6/18(月) 18:00PM**（会場：龍谷大学 セミナーハウス「ともいき荘」）

参加国：16カ国（オーストラリア、カナダ、ドイツ、インドネシア、マケドニア、ニュージーランド、ノルウェー、フィリピン、ポーランド、スコットランド、韓国、アメリカ、他5カ国（日本、インドネシア、カンボジア、シンガポール、ウエールズ）は日本にて参加）

<課題(challenge)>

"Present a business idea to a panel of entrepreneurs who are keen to invest in a business start-up which might be a micro-business in exchange for an equity stake in the operation. These investors are particularly interested in business ideas that will create jobs for young people."

■入賞チーム

◎最優秀賞： オーストラリアチーム

2位： ニュージーランド チーム

3位： ウェールズ チーム



開会式のスピーチ



参加チームの自己紹介とミニスキット



集合写真



参加者交流のためのワークショップ



課題のアナウンスに聞き入る参加者



課題に取り組む日本チーム



閉会式と参加証の授与



市内観光をへて、記念撮影



## ●第12回 バーチャル・カンパニートレードフェア 2012

第12回目を迎えた『バーチャル・カンパニー トレードフェア』ですが、当日は、全国から参加した30チーム（小学生2チーム、中学生2チーム、高校生1チーム、大学生25チーム）に加え、起業準備中の社会人5人が出展いたしました。今年は、トレードフェア前に、参加チームの事業について紹介するプロモーションビデオやHPの作成、また事業計画書の提出を義務付け事前審査を充実させたことで、出展者がトレードフェアに向けて十分な準備をしたり、主催者側も当日の参加校の取り組みについて落ち着いた評価をしたりすることができました。

また、アイセック・ジャパン京都大学委員会のご協力のもと、日本でインターンシップをしている留学生の方々に各国のビジネス事情の違いを紹介していただいた後、小学生から大学生までがグループに分かれて、新商品の開発に挑むなど参加者間で交流を深めました。表彰式では、知事賞始め、12チームに賞が授与されましたが、いずれの取り組みも、地元の団体や行政機関などと連携して商品開発を行っており、地域活性化に貢献する素晴らしい取り組みとなっております。

なお、当日は、関係者団体や近隣の方々に加え、このような教育に感心を持ち、将来、教育者として指導したり、自ら起業したいという大学生達の参加も多く、アントレプレナーシップ教育の成果についてより広く知っていただく機会となりました。運営においても、昨年度に引き続き、過去に本取り組みに参加した若者や協力団体の皆様がボランティアスタッフとして参画・応援いただくことができました。

本イベントに参加した小学生～大学生へのアンケートからも、参加者の98%が「大変学ぶことがあった」または「学ぶことがあった」と回答しており、当日の対面販売と同時に、審査員や一般の顧客からの意見、他校との交流を貴重な学びと捉えていることがわかります。また、一般来場者へのアンケートからはこのような教育を後押しする声が多く、今後さらにこのような活動が普及していくことを期待しているところです。

### <協賛>

- 特別協賛：公益財団法人本田財団
- 協 賛：有限会社アミークス、一般社団法人 IMPACT Foundation Japan、株式会社エフタイム、京都信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社ジェイ・エス・エル、株式会社島津製作所、株式会社大貴
- 広告協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、有限会社さがの館、株式会社福寿園、株式会社堀場製作所、よーじやグループ、ローソン百万遍店、有限会社森三（スタジオダリ）
- 商品協賛：有限会社アミークス、株式会社井筒八ッ橋本舗、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社（京都シネマ）、Coworking space 異能工房（有限会社 Ek、株式会社フォー・リンク・システムズ、株式会社京装テクノロジー）、青少年と科学の会、株式会社福寿園、よーじやグループ

### <プログラム>

#### 10:00 開会式

主催者挨拶：市原 達朗（トレードフェア実行委員会 委員長）

開会宣言：飯塚 真衣（すきの実 社長 共愛学園前橋国際大学 2年生）\*昨年度の知事賞受賞校





### 10:15 バーチャル・カンパニーのブース展示

全国から集まった小学生～大学生のチームが、自分たちの運営するバーチャル・カンパニーの商品をブースにて販売。この間、参加チームの実践は、事業内容・社会貢献度・地域との連携・展示販売や発表方法など、総合的な視点で評価されます。同時に事前提出したプロモーションビデオが会場で流されました。



### 14:00 学生の交流セッション (協力：(特) アイセック・ジャパン 京都大学委員会)

#### ① ビジネス各国事情

日本の企業で研修されている3カ国のゲストの方から、出身国と日本の働き方の違いなど主にビジネスに焦点を当ててご紹介いただきました。外国から見た日本の企業の奇妙だと感じた点、優れていると感じた点など、ゲストからの新鮮な話にみんな熱心に聞き入っていました。

<ゲスト>

アメリカ：Omied Lele (オーミッド・レレ)

ベトナム：Vu Tuan Tu (グウ・トゥアン・トゥ)

メキシコ：Billy Sheawell (ビリー・シェアウェル)

#### ② 身近な素材で新商品開発に挑戦！

小学生から大学生がチームを組んで、新聞を使った新商品開発に挑戦しました。学校・学年の壁を超えた交流を目的としており、参加者は、チームで協力し合いながらものづくりに取り組んでいました。最後にすべてのチームにアイデア商品を発表してもらい、人気投票で上位に入賞したチームには、協賛企業様より素敵な賞品が授与されました。



### 15:30 審査結果の発表と表彰式

展示ブースでの応対、提案商品の新規性や発表などを審査員が総合的に評価し、優れた実践に対して賞を授与しました。



- ◎京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチーム）  
上野乃麵処、共愛学園前橋国際大学
- ◎京都工業会賞（科学技術の分野（製品：ものづくり）において新しい発想があったチーム）  
Generative、愛知学院大学
- ◎京都経済同友会（地域コミュニティに貢献度の高いチーム）  
すのきの実、共愛学園前橋国際大学
- ◎京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデル（サービス）に新規性や独自性の高かったチーム）  
Days、近畿大学
- ◎異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチーム）  
あそびラボ、目白大学
- ◎本田財団賞（科学技術の分野で秀でた事業アイデアを出したチーム）  
株eggplant、同志社女子大学
- ◎スチューデント賞（生徒が選ぶ最も優れたチーム）  
一身田カンパニー、津市立一身田中学校
- ◎ベストショップ賞（一般来場者が選ぶ最も優れたチーム）  
N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)、尾道市立原田中学校
- ◎特別賞  
Kyoto Traditional Greens、京都府立桂高等学校  
天月、共愛学園前橋国際大学  
野菜の絨毯、近畿大学  
Kyo-com、同志社女子大学

### 16:30 懇親会（ホスト：公益財団法人本田財団）

長い一日を終え、参加者もスタッフも一息。リラックスして食事と会話を楽しみました。

ご挨拶： 原田 洋一（公益財団法人本田財団 常務理事）

乾杯： 大山 美妃（上野乃麵処 社長 / 共愛学園前橋国際大学）



参加者・指導者・審査員など関係者みなで交流したあと、主催者事務局のアントレプレナーシップ開発センターの理事長 原田紀久子氏より閉会の挨拶があり、イベントが終了しました。



●京都府知事賞 受賞チーム:上野乃麵処(共愛前橋国際大学)



『上野乃麵処のHP』



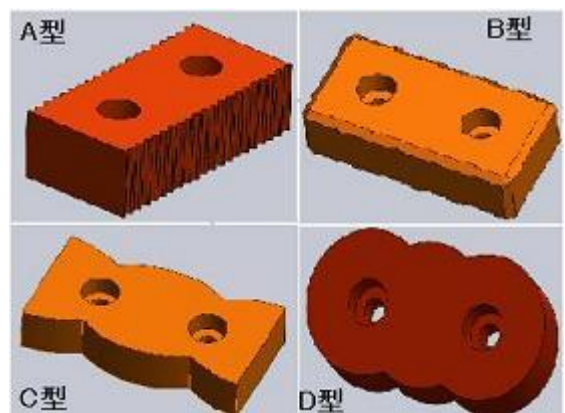
「こんにゃくつけ麺」と「くわ餃子」

評価ポイント: 地元の特産物を使った本格的な商品開発の実績と広報などへの取り組み

●京都工業会賞 受賞チーム:Generativve(愛知学院大学)



『Generative のHP』



「塩レンガ ReBorn 「回生」」

評価ポイント: 2007年から継続的に改善を行い、地元の企業などと連携した物作りと実用化に向けた実績。

●京都経済同友会賞 受賞チーム:すのきの実 (共愛学園前橋国際大学)



『すのきの実のHP』

「紅藍の城」と「榛東づくし」

評価ポイント: 地元の村役場や企業と連携した榛東村産の果物を利用した商品開発。

●京都中小企業家同友会賞 受賞チーム:Days (近畿大学)



『Days のHP』

「玉ねぎの皮ふりかけ」と「オニオンパン」

評価ポイント: レストランなどで大量のゴミとなる玉ねぎの皮の有効利用に着目した点。

●異能工房賞 受賞チーム:あそびラボ(目白大学)



『あそびラボ HP』



「国取りめんこ」と「ゴムでっぽう」

評価ポイント:100円ショップで購入できる簡単な素材をつかった新しい遊びが、顧客ニーズをうまくつかんで開発されていた点。

●本田財団賞 受賞チーム:株eggplant (同志社女子大学)



『株eggplant HP』「なすジャム」



評価ポイント:地元産のなすに注目した新商品開発と当日出展ブースでの接客対応の良さ。



●スチューデント賞 受賞チーム:一身田カンパニー(津市立一身田中学校)



『一身田カンパニーのHP』

「フォトスタンドセット」と「伊勢木綿のブックカバー」

評価ポイント:当日参加した200人以上の生徒から、一番高い評価を受けた。

●ベストショップ賞 受賞チーム:N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)(尾道市立原田中学校)



『N.R.C.のHP』

「カブトムシ幼虫セット」と「エコセット」

評価ポイント:当日の一般来場者から一番高い評価を受けた

●特別賞：Kyoto Traditional Greens（京都府立桂高等学校）



『Kyoto Traditional Greens のHP』 「鹿ヶ谷かぼちゃのムースとコーヒーゼリー」と「桂うりのタルト」

評価ポイント: 取り組みの良さと生徒の接客マナーなど

●特別賞：天月（共愛学園前橋国際大学）



『天月のHP』

「SEDA 美容液 トマト」と「シルクゼリー」

評価ポイント: 地元産のシルクやトマトを使った新商品の開発



●特別賞：野菜の絨毯（近畿大学）



『野菜の絨毯の HP』



「屋上野菜化プラン」

評価ポイント: 大和野菜へ注目した点

●特別賞：Kyo-com（同志社女子大学）



『Kyo-com の HP』



「京の露—玉露生キャラメル」

評価ポイント: 地元との連携から生まれた商品と HP やプロモーションビデオなどの広報力

## 6. 起業や事業運営に関わる研修やコンサルティング事業

### ●神戸商工会議所「KCCI創業塾(第14期)～起業家カレッジ」

神戸商工会議所の創業塾にて「会社を作ろう!」の講座を実施。会社運営に必要な基礎知識を学びながら、グループに分かれて新規ビジネスの提案を通じて、自らの企業に役立つスキルを習得しました。

開催期間:平成24年6月23日(土)～7月21日(土)[全6回]  
場 所:神戸市産業振興センター



### ●兵庫六甲農業協同組合「農業経営者塾」

兵庫六甲農業協同組合にて主催されている「農業経営者塾」にて「経営計画立案」について講義を行いました。

開催日:平成25年2月12日(火)  
場 所:兵庫六甲農業協同組合

### ●京都式ソーシャル・ビジネス人づくり事業 「地域の担い手応援事業」

実施期間:平成24年10月1日(月)～平成25年3月31日(日)  
場 所:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

地域の課題をビジネス的手法を用いて自立的、継続的に解決し、地域の活性化等に結び付けるソーシャル・ビジネスのリーダーや担い手を座学や実践研修等を通じて育成するという趣旨のもとで5名の研修生を受入れ、実施いたしました。最低3回のトライアル(テストマーケティング)を実施し、事業計画を随時見直し、必要な知識やスキルの習得を奨励すると同時に、卒業後の事業立ち上げの準備につなげました。



## 7. 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス(就労支援事業)の提供やその支援

### ●平成 24 年度京都府地域力再生プロジェクト 「障がい者の働きがいと能力を活かす地域の実現」に向けて 京都府地域再生プラットフォーム

障がい者ひとり一人の自立を実現するために、賃金保障を確保してだけでなく、個々の働きがいや能力を伸ばす就労のあり方について、既存の枠やシステムにとらわれずに議論し、多様な団体が協力して障がい者の地域参画と就労支援体制を構築する施策を検討しました。

#### 【活動内容】

##### <第1回会議>

- ・日時：平成 24 年 8 月 10 日（金）10:00-12:00
- ・場所：京都府庁 NPO パートナーシップセンター会議室
- ・参加者：20 名（事務局含む）
- ・内容：問題意識の共有と課題設定

##### <第2回会議>

- ・日時：平成 24 年 8 月 30 日（木）10:00-12:00
- ・場所：京都府庁 NPO パートナーシップセンター 会議室
- ・参加者：22 名（事務局含む）
- ・内容：論点整理、プロジェクト案の検討

##### <第3回会議（先進地視察）>

- ・日時：平成 24 年 10 月 22 日（月）14:00-16:00
- ・場所：社会福祉法人共生シンフォニーがんばカンパニー（大津市大將軍 2-31-5）
- ・参加者：17 名（事務局含む）
- ・内容：就労継続支援 A 型事業所で、ソーシャルファームにも先進的に取り組んでいる事業所の見学

##### <第4回会議>

- ・平成 25 年 3 月 14 日（木）14:00-16:00
- ・場 所：京都府庁旧本館 1 階 NPO パートナーシップセンター会議室
- ・参加者：15 名
- ・内容：次年度京都府事業の概要説明。事業運営にかかる課題についての意見交換

#### 【活動の成果】

- ・障害者福祉施設、企業、行政等で議論し、「福祉から雇用」につながる事業を検討。限られた時間で、十分な議論はつくせなかったが、参加者の問題意識をもとに、京都府の新規施策につながった。
- ・具体的な施策づくりの過程にプラットフォームメンバーが参画することができなかつたため、施策化へのプラットフォームのかかわり方に課題を残した。
- ・平成 25 年度も引き続きプラットフォームを開催し、新規事業の効果検証やブラッシュアップを行うとともに、障害者の就労支援について官民の垣根を越えて幅広く議論する場としたい。





---

●平成 24 年度京都府「ほっとはあと製品応援事業」  
「賃金向上達成のためのモデル事業」

---

「工賃向上達成のためのモデル事業」に応募・採択された団体のプロジェクトプラン作成を支援しました。

<事業参画団体>

- 社会福祉法人よさのうみ福祉会 野田川共同作業所
- 社会福祉法人 全国手話研修センター 就労支援センター とも
- 社会福祉法人亀岡福祉会 かめおか作業所
- 京都市だいが学園

## 8. その他 この法人の目的を達成するために必要な事業

### ●委員等

- ・ 京都府府民力推進委員
- ・ 京都府雇用創出・就業支援計画推進委員
- ・ 京都府工賃向上計画検討会議委員

## 9. その他:支援校の取り組み

バーチャル・カンパニーの参加校が、地元の町おこしに協力！

### ◎同志社女子大学のバーチャル・カンパニー

同志社女子大学の「e コマース（電子商取引）研究」で取り組んでいるバーチャル・カンパニー「Kyo-com」が、玉露の産地として知られる京田辺市で、茶農家らでつくる飯岡玉露そばクラブと共同で「玉露生キャラメル」を開発しました。そばクラブでは「女子大生の斬新なアイデアでいいものが生まれた。本格的に生産できれば」と意気込み、生徒達も「将来は市の特産品に」と、京都新聞、毎日新聞や読売新聞にも取り上げられ、地域の活性化に大変貢献しています。

### ■□2012 年度プレスリリース-----

当センターが支援している学校の取り組みが新聞で紹介されました。記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧下さい。<http://www.entreplanet.org/press/index.html>

- ・ 2013 年 3 月 8・11 日 京都新聞 「福祉の仕事 興味持てた」
- ・ 2012 年 12 月 1 日 読売新聞 「玉露キャラメルで町おこし・・・同志社女子大」
- ・ 2012 年 11 月 13 日 京都新聞 「福祉の仕事体験新聞に 与謝野・加悦中生保護者らに発表」
- ・ 2012 年 11 月 24 日 KBS 京都テレビ でトレードフェア紹介
- ・ 2012 年 11 月 25 日 京都新聞 「学生企画商品光る 左京でトレードフェア」
- ・ 2012 年 10 月 12 日 朝日新聞 玉露風味の新スイーツ 同志社女子大生と農家
- ・ 2012 年 10 月 5 日 京都新聞 「福祉の仕事 挑戦したよ」 障害者らと交流 南丹・殿田小
- ・ 2012 年 9 月 29 日 読売新聞 生キャラメル「玉露」 茶農家と同女大生開発 京田辺
- ・ 2012 年 9 月 27 日 毎日新聞 「玉露」練りこんだ生キャラメルを開発 同志社女子大学学生
- ・ 2012 年 6 月 21 日 京都新聞 「ボタンが広げる可能性 障害者活動拠点「工房ソラ」と「モーネ工房」がコラボ
- ・ 2012 年 6 月 17 日 京都新聞 「若年層雇用ビジネス創れ 日本代表・洛南高も発進」
- ・ 2012 年 5 月 11 日 京都新聞 「特産玉露でスイーツ 京田辺の同女大生基本の茶摘み体験」

## 会計収支報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員	250,000	
賛助会員	173,000	
教育支援利用会員	2,782,500	
		3,205,500
2 事業収入		
自主事業	594,360	
連携事業(委託事業等)	17,323,554	
その他(講師・委員等)	457,671	
		18,375,585
3 寄付金・助成金収入		
寄付金	2,416,998	
助成金	2,882,430	
		5,299,428
4 その他		
受取利息	4,484	
		4,484
		26,884,997
II 支出の部		
1 事業費		
自主事業	6,158,985	
連携事業(委託事業等)	16,615,766	
その他講師・委員等	718,300	
		23,493,051
2 管理費		
		3,289,018
3		
当期支出合計(C)		26,782,069
当期収支差額(A)－(C)		102,928
次期繰越収支差額(B)－(C)		102,928



# 会計貸借対照書

平成 25 年 3 月 31 日現在

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金	19,659	
普通預金	29,668,374	
前払費用	181,567	
未収入金	1,277,535	
流動資産合計		31,147,135
2 固定資産		
保証金(敷金)	500,000	
固定資産合計		500,000
資産合計		31,647,135
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
預り金	266,967	
前受収益	300,000	
未払金	4,254,145	
流動負債合計		4,821,112
2 固定負債		
退職給与引当金	2,500,000	
固定負債合計		2,500,000
負債合計		7,321,112
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		24,223,095
当期正味財産増加額		
当期収支差額	102,928	102,928
正味財産合計		24,326,023
負債及び正味財産合計		31,647,135